



マグネシウム・ソレイユ・プロジェクト

「21世紀に地球が直面する最も大きな課題は、持続可能な方法でエネルギーを生産し、消費しなければならないということです。その方法として、エネルギーキャリアとして注目されるマグネシウムを製錬し、合金を生産し、これを軽量の構造材として活用した後に、電池として利用することが有望視されています。自然エネルギーなどが余ったときに、そのエネルギーを用いてマグネシウムのリサイクルを行うことは、エネルギーを貯蔵することと同じで、さらに付加価値が上がります。私たち協議会はマグネシウムに限らず、今後、エネルギーキャリアとなる素材を循環システムに位置付け、国内だけでなく世界中のどこでも、公平なテーマとして扱いができるよう啓発活動を推進しながら構築・実現していくことで、地球環境の維持保全に貢献して行きます。」

「Mg-Day in IWAKI」にて展示(11月21日いわき駅前ラトブ)

我々はEVに搭載するエネルギーの多様性を展開しています。

(海水から製錬するMgをエネルギーキャリアとしての電池の実現、そしてソーラーカーは自己完結型のEVです。)

東海大学：木村 英樹 教授 (ソレイユ・プロジェクト・EV用部会会長)
 玉川大学：斉藤 純 准教授 (ソレイユ・プロジェクト・EV用部会)



玉川大学のマグネシウムで走る世界発のハイブリッド・ソーラーカー (未来叶い、S-MgConcept)

日本独自のマグネシウム生産拠点の確立 Mg・Soleil Project
 [Green Power Supply Systems Project]
 「マグネシウム製錬実証試験設備の構築(久米島プロジェクト)」



世界トップクラスの東海大学のソーラーカーと国内各大会で活躍するEVエコラン・カー

計画中
 2022年3月に計画していましたが、新型コロナインパクトのため、中止して決定できませんでした。
 2022ワールド・エコノムープ・グランプリ最終戦予定(約出場30台)
 2023年3月18日(土)から19日(日)
 沖崎(久米島) ソーラーカーデモ走行予定(東海大、玉川大、工学院大)

＜国内唯一の公道での国際レース＞
 2023.3.19 W.E.M.久米島 (グランプリ最終戦) 予定
 開催予定: 2023.03.18 (土) - 19 (日)
 2011 (I) 「Mg-Day in KUMAJIMA IV」開催予定

久米島までの協議車両の運搬費負担(コンテナ費用)は内閣府助成にて検討中です。
 (東京、大阪、那覇から)
 久米島のホームページは次の通りです。
<http://www.town.kumajima.okinawa.jp/>

コース等について
 石川町で一周 1.8kmでの総計4周に深層モーターとして追加ポイントを追加しての記録を競う。
 ※追加ポイントについては技術・環境に関するものとして検討中
 〒901-3105 沖縄県島尻郡久米島町字宇津414 水産加工施設隣近

デモ走行として参加予定のソーラーカー(車種(左から))玉川大学、東海大学、工学院大学



一般社団法人循環社会推進協議会 (2022.12.01より変更予定) 約50団体他加盟 (産学官連携)

<http://www.soleil-energy.jp>

*2018年2月より社団法人

代表理事：熊谷枝折 (事務局長兼電池部会長)

s-kumagai@soleil-energy.jp

会長：坂本満 (兼合金部会長) 製錬部会長：柴田浩幸、海洋エネルギー部会長：池上康之、EV部会長：木村英樹、応用部会長：樹川重男

事務局：高田賢一 (協議会)、前田雅彦 (開発委員会)

東北大学 先端材料技術開発センター マグネシウムソレイユプロジェクト 022-217-3884 (Tel/Fax)